

ブリーフィング資料

<決勝レースについて>

- [1] 自分の決勝スターティンググリッドを事前に予選リザルトから確認しておいてください
- [2] サイティングラップに間に合わない場合や、スタート時にグリッドよりスタートできない場合はピットスタートとする場合があります
- [3] サイティングラップ終了後、自身のスターティンググリッドに到着後はエンジンを停止してください
- [4] その後、選手紹介 → エンジンスタート(キッズバイクは保護者OK) → グリーンフラッグ → **ウォーミングアップラップ1周** → 決勝レーススタート
- [5] ジャンプスタート(フライング)(※シグナル点灯後)があった場合でもスタートの仕切り直しはせず、反則スタートしたライダーのみにペナルティが科せられる
- [6] シグナル点灯後にタイヤが動いた時点でペナルティ対象とする ※グリッド線を越えていなくてもタイヤが動いた時点でペナルティ対象となる

【※注意】 フライングした者に対しレース終了後の正式結果に+5秒加算とする為、そのままレースを続行しておいてよい。

修正⇒フライングボードをメインポストにて提示しない場合がある。

※各セッションのチェッカー後は第2ショートカットのみを使用してピットへ戻る。

※決勝の優勝者は第2ショートカットにてオフィシャルからチェッカーフラッグを受け取りウイニングラン → 第2ショートカットでオフィシャルへフラッグを返却

<決勝レースの成立について>

- [1] レースは1位の者が規定周回数の3分の2以上を周回した時点で成立とする。(12周=8周回で成立)
従って3分の2以上を周回した場合の赤旗などによる途中中断はその前周の着順をもって成立とする。3分の2未満で中断した場合、中断以前の着順、ペナルティ等すべて無効とし規定周回数により再スタート。再スタート時も**ウォームアップラップを1周**行ったらにシグナルスタートとする。
- [2] 競技長が競技続行不可能と判断した場合中断の前周の順位をもってレース終了とする。この場合シリーズポイントは規定の半分(小数点以下四捨五入)を与える。
- [3] 赤旗の原因となった参加者はDNF扱いとなる

<決勝レース終了後の車両保管について>車両保管場所はブリーフィングにて通知

- [1] ブリーフィングにて通知された各クラス上位3名まで車両保管をする(車両保管対象となったライダーはスタンドのご用意をお願いします)
 - [2] 車両保管解除は場内アナウンスにて随時放送いたします ※違反を発見した場合はいかなる理由であっても失格とする
- ※レース後の車両保管はスタッフの指示に従って保管場所までお持ちください。その際、該当ライダーのピットクルーは保管場所へスタンド持参のご協力をお願いします。

<計測器について>トランスポンダーは、下部黒色面からタイム計測に必要な電波を発信していますので取り付け方法を必ず守ってください。

- [1] ランプの点滅確認後、天地(上下)を間違えないように正しい方向で車両に装着後、βピンは落下防止のため、必ず結束バンド等でとめてください。
- [2] 計測器の取り付けは本体と一緒にホルダーを貸し出しますので、持ち帰りの無いように本体と一式でご返却下さい。
- [3] 74Daijiroの計測器取付位置はスイングアーム右側のみとする。
- [4] 計測器は地面から50cm以内の高さに取付(メーカー推奨30cm)
- [5] ゴールの判定はチェッカーを受けた順で決定する。

順位の判定は計測機がゴールラインを通過した着順にて決定する。同着の場合は予選順位の結果にて決定する。

・マイポンドナーの使用は事前に届け出があれば認めます。但、充電不備や計測トラブルについては自己責任となります。

・トランスポンダーは以下の理由で測定できない場合はノータイムとなります。

黒色面を下向きに天地正しく取り付けていなかった場合、地面から50cm以内の高さに取り付けていなかった場合

<その他>

- [1] コース上で転倒した場合でもショートカットの使用は禁止とする。マシントラブルなどの場合のみエスケープゾーンへの進入を認める
- [2] コース上でマシンが停止し、再スタートができない場合はすみやかにオフィシャルの指示にしたがい、コース外へと避難する
- [3] Rクラスは、決勝レース中、2回までは規定タイムを超えてもよい(3回目には賞典外となる)予選で規定タイムを超えた場合はカウントしない
- [4] Rクラスタイム規定がありますが、タイム調整の為の急な減速はペナルティが科せられる場合がある(※特にストレート区間での減速は禁止)
- [5] 74Daijiroクラスは予選、決勝の2回、全ライダー体重測定あり(体重違反のペナルティ → 予選での違反=決勝最後尾スタート。決勝での違反=失格)
- [6] プラットホーム(サインボードエリア)には登らないこと。サンダルやヒールでのサインボードエリアへの進入は禁止とする
- [7] ウェットコンディションの場合でも、周回数の減算はしない(ただし、大荒れな天候などの際は、周回数を減算してレースを開催する場合がある)
- [8] 走行中はアゴ紐、スーツのファスナーが完全にしまっていること。走行中はシールドを完全に閉めて走行すること(ブラッグフラッグの対象となります)
- [9] アスファルト上にガソリン・オイルを漏らした方は理由にかかわらず、1件につき 30,000円 を申し受けます
- [10] サーキット設備に対して被害を与えた場合は、実費にて弁償していただきます(コースバリア、フェンス、理由にかかわらず計測器落下1個55000円請求)
- [11] **車載カメラは車検時に取り付けて車載カメラの「取付車検」をうけてください。(今シーズンより申請書は省略)**

<ペナルティについて>

喫煙は、必ず喫煙所をお願いします。ガソリンやオイル、引火しやすいものが多くあり危険です

- [1] フライング = 決勝正式リザルトに **+5秒加算**
 - [2] フラッグ無視 = 順位降格
 - [3] ピットロード速度超過 = 1回目:厳重注意 2回目:失格
 - [4] 危険行為 = 厳重注意またはタイムの加算または失格
 - [5] 重量規定 = 予選→決勝最後尾スタート 決勝→失格
 - [6] 音量規定 = 1回目:厳重注意 2回目:失格(出場不可)
- ※ **イエローラインカット違反 = 厳重注意**

マフラーについてー

レース中にマフラーやサイレンサーなどの部品が外れたり破損した場合、

黒旗およびゼッケン番号が提示されます。

提示を受けたライダーは直ちにピットインして修理を行い、オフィシャルの許可を得てから再スタートしなければなりません。

パーツの脱落や破損についても後続車へ重大な危険となるため、黒旗ピットインとなりペナルティの対象とする場合があります。

